

# 気候変動・生態系の危機!!

今夏の異常気象による極端な猛暑、旱魃、そしてゲリラ豪雨や台風の頻発は私たちの「命の危険」に直結する脅威となりました。

その影響は人的被害にとどまらず、農業に限っても、各地で渇水や高温障害、さらには強風や冠水の被害が多発しました。

昨今の気候変動は世界レベルで生態系に影響を与え、将来の国際的な食糧の安全保障をも揺るがしかねない事態を招くに違いありません。

## そんな状況で私たちは何ができるのか？

現在、世界は国連の新目標(SDGs、2030アジェンダ)をスタートさせていますが、他人ごと、専門家任せでは、サステナブルな社会へのソフトランディングは、望めないでしょう。

12月8日の「有機農業の日」を迎えるにあたって、日々の暮らしを見つめ直し、将来世代に犠牲を押し付けないために。SDGsをあたらしい視点に加え、持続可能な農と食のこれからを考えるフォーラムを開催します。

## より多くの皆さまにご来場頂ければ幸いです。



12.8「有機農業の日」連動企画

## 第2回 日本版アグロエコロジー 東京フォーラム 「SDGs時代の持続可能な農と食」

2018年12月2日(日) 13:00~17:30  
国学院大学渋谷キャンパス2号館2104教室

【参加費】運営費カンパ制として当日お願いいたします。【定員】150名  
1口500円として、一般2口・1000円以上 | 学生1口 ※国学院大学生特別優待枠あり



QRコードでアクセス

【主催】日本版アグロエコロジー勉強会 【事務局】農力向上委員会 【問い合わせ】support@reculti.org(担当:西村)

【共催】「有機農業の日」実行委員会/渋谷環境と文化の会/国学院大学大学院特定課題研究グループ/一般社団法人 the Organic

【協賛】アグリイノベーション大学校/共生社会システム学会 【後援】日本有機農業研究会 【賛同】タッチ!オーガニックキャンペーン/12.8「有機農業の日」記念日



イベントの詳細・参加申し込みはコチラ <https://kokucheese.com/event/index/542816/>

こちーず 日本版アグロエコロジー勉強会



12.8「有機農業の日」運動企画

# 第2回 日本版アグロエコロジー 東京フォーラム 「SDGs時代の持続可能な農と食」

2018年12月2日(日) 13:00~17:30  
國學院大學渋谷キャンパス2号館2104教室

【参加費】運営費カンパ制として当日お願いいたします。定員150名まで  
1口500円として、一般2口・1000円以上 | 学生1口 ※國學院大学生特別優待あり



QRコードでアクセス

**プログラム** 【司会進行】ハッタケンタロー氏(種まき大作戦/食育マルシェ)/木本一花氏(マイファーム)

- 13:05~ **問題提起:** 古沢広祐氏(國學院大學)『共存社会・SDGs時代における有機農業の役割』
- 13:15~ **来賓挨拶:** 中井徳太郎氏(環境省 総合環境政策統括官/「つなげよう、支えよう森里川海」チーム長) 及川仁氏(農林水産省農業環境対策課長)

## 基調報告

- 13:35~ 江守正多氏(国立環境研究所)『顕在化する気候変動の脅威~人新世(アントロポセン)の行方』
- 14:20~ 関根彩子氏(国際環境NGOグリーンピース・ジャパン)『工業型農業が招くグローバルな環境破壊』
- 15:00~ 坂田昌子氏(国連生物多様性の10年市民ネットワーク代表)  
『生物多様性は食の源~高尾山の現場からローカルの可能性をさぐる』

## パネルディスカッション『みんなで考えよう!SDGs時代の持続可能な農と食』

- 15:40~ 【モデレーター】 小原壮太郎氏(一般社団法人 the Organic/全国有機農業推進協議会)
- 【パネラー】 下山久信氏(全国有機農業推進協議会/さんぶ野菜ネットワーク)/相原成行氏(日本有機農業研究会/相原農場) 高橋俊彰氏(IFOAMジャパン)/鶴田志郎氏(有機農業参入促進協議会)
- 【特別ゲスト】 ジョン・ムーア氏(一般社団法人シーズ オブ ライフ)
- 【コメンテーター】 中井徳太郎氏(環境省 総合環境政策統括官/「つなげよう、支えよう森里川海」チーム長)
- 17:20~ **総括** 尾崎零氏(農を変えたい!全国運動関西地域ネットワーク)代表/産消循環自給農場「べじたぶる・は一つ」

18:00~ **交流会**…終了後に開催予定です。時間のある方は交流いたしましょう。(詳細は当日)

## 基調報告者および特別ゲストプロフィール



**江守正多氏** 国立環境研究所

東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。1997年より国立環境研究所に勤務。2006年より国立環境研究所地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長、2011年より同気候変動リスク評価研究室長、2018年より同副研究センター長(室長兼務)。2013年より地球温暖化研究プログラム総括、2016年より低炭素研究プログラム総括、社会対話・協働推進オフィス代表(すべて兼務)。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次・第6次評価報告書主執筆者。



**関根彩子氏** 国際環境NGOグリーンピース・ジャパン

1991年グリーンピース・ジャパンの活動に参加、主に有害物質、気候変動・エネルギー分野を担当(~2004)。2007年からAntarctic and Southern Ocean Coalition/南極南大洋連合(米)で海洋資源保全に携わる。東電福島第一原発事故を機にグリーンピースに復職、のち2014年より食と農業プロジェクト担当。



**坂田昌子氏** 国連生物多様性の10年市民ネットワーク代表

高尾山を守る環境NGO「度十の会」代表。国連生物多様性の10年市民ネットワーク代表。CEPA JAPAN理事。高尾山をフィールドとした地域での活動を行う一方で、2010年名古屋で開催された生物多様性条約COP10以降、2012年COP11(インド)、2014年COP12(韓国)、2012年リオ+20地球サミットなどの国際会議にも参加している。生物多様性の主流化、巨大開発による環境破壊の阻止、国際会議をはじめ政治に対する市民の発信力のアップに力を注いでいる。



**ジョン・ムーア氏** 一般社団法人シーズ オブ ライフ

社会起業家。ソーシャルビジネスアドバイザー。アイルランド生まれ。英国シェフィールド大学卒。教師を経て、広告代理店に勤務。その後、電通に入社し日本へ移住。コピーライターとして活躍後、パタゴニア日本支社長などを歴任。現在は一般社団法人シーズ オブ ライフを設立し、種子の保護・育成活動に従事。オーガニック教育プログラム、アーバンファームの推進、オーガニックガーデンや種から作るオーガニック商品のプロデュースなどを行っている。

イベントの詳細・参加申し込みはコチラ

<https://kokucheese.com/event/index/542816/>

こくちーず 日本版アグロエコロジー勉強会 🔍